

鹿児島学習定着度調査結果について（リーフレット版）

各学校及び教員においては、目の前の生徒一人一人が、どの問題がなぜできなかったのか、また、どの部分でつまづいたのかをしっかりと把握し、どのような授業を行えばよかったのか、そして今後どのような授業を行うべきなのかを振り返ることが重要です。

このリーフレット版では、自校や自学級の結果を書き入れることで、各教科における県の全体通過率との比較や、課題となっている設問との比較ができるように作られています。

県の平均通過率と自校の結果

	国語	社会	数学	理科	英語
自校・自学級の結果（中1）					
県平均（中1）	75.9	54.4	74.3	66.3	77.0
自校・自学級の結果（中2）					
県平均（中2）	65.6	62.3	68.8	66.9	71.4

国語

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中1 3 全体版 P25

根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること

県平均	自校・自学級
49.8	

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2 3 全体版 P28

伝えたいことがわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫すること

県平均	自校・自学級
35.7	

ポイント

他者の意見を理解したり、自分の意見を述べたりする言語活動に取り組む中で、一人で記述する時間、グループ等で話し合う時間を十分に確保しながら、情報と情報とがどのように結び付いているかを捉えて整理したり、意見と意見を支える根拠を明らかにしたりすることが大切です。

ポイント

他者の意見を理解したり、自分の意見を述べたりする言語活動に取り組む中で、評価規準を明確にして指導と評価の一体化を図りながら、情報と情報とがどのように結び付いているかを捉えて整理したり、意見と意見を支える根拠を明らかにしたりするとともに、意見を裏付けるためのより適切な根拠の在り方を理解することが大切です。

社会

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中1 3 (2)(3) 全体版 P31

ヨーロッパの農業について理解していること

県平均	自校・自学級
35.8	

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2 6 (3) 全体版 P34

江戸時代の政治について理解していること

県平均	自校・自学級
36.2	

ポイント

雨温図から分かる1年間の気温差、降水量の多い(少ない)月などの気候的な特徴と該当都市の緯度や地形などの地理的な条件に着目させ、気候を決定する要素は何かを考えさせることが大切です。

ポイント

江戸時代の改革については、すべてを学習した後に、「あなたならどの改革を支持するか」などのテーマで時間を設定する授業をするなど、まとめる等の時間を設定することで定着も図られます。

数学

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中1 8 3 全体版 P37

数学的な結果を事象に即して解釈すること

県平均	自校・自学級
67.5	

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2 7 3 全体版 P40

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

県平均	自校・自学級
51.1	

ポイント

関数関係を見いだす際に日常生活の題材を取り扱う授業や、関数関係を自ら見いだしたり、その理由について式やグラフ、図形を根拠に説明し合ったりする授業を行うことが重要です。

ポイント

自分の考えをまとめたり、対話により互いの考えを批判的に考察したりする際には、タブレット端末やワークシートといった道具や、個、ペア、グループでといった学習形態などを自由に自己選択、自己決定できるように工夫することが重要です。

理 科

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中1 5 (2) 全体版 P43

実験結果から、混合物の蒸留に関する性質を見いだすこと

県平均	自校・自学級
46.9	

ポイント

問題意識をもつ場面で、混合物の沸点はどうかということに焦点化し、それぞれの問題意識をもとに、見通しをもたせて実験をすることが大切です。

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2 3 (3) 全体版 P46

グラフを正しく読み取り、結び付いた酸素の質量を求めること

県平均	自校・自学級
55.2	

ポイント

実験の化学変化をモデルで考えさせ、説明させることで、微視的に事物・現象を捉えさせることができ、銅と酸素が一定の割合で反応することを理解させやすくなります。

英 語

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中1 10 全体版 P49

スピーチ文の内容を把握し、適切な英文を選択すること

県平均	自校・自学級
54.4	

ポイント

内容理解の際は、いきなり新出単語を扱ったり、文単位で最初から意味をとろうしたりせず、文章全体を通した大きなもの（概要）から捉えて、次第に小さなもの（内容）を捉えていく読み方をさせましょう。

【課題が見られた問題の概要】

設問番号 中2 13 全体版 P52

与えられたテーマについて、自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書くこと

県平均	自校・自学級
44.3	

ポイント

活動をさせる際は、始めはワークシートやカード等の補助があるものですが、それらは徐々に取り除きながら最終的には生徒が自分で活動できるようにしましょう。

児童生徒質問紙及び学校質問紙について 全体版 P6

- 「授業がよく分かりますか。」という質問項目では、全体として児童生徒が「よく分かる」と回答している割合が増加していることから、児童生徒にとって「分かる」と実感できる授業改善が行われつつあると考えられます。
- これまで本県の課題である「自己肯定感」に関する項目については、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」と実感している児童生徒の割合が増加しており、このことが「自分にはよいところがある。」と感じる児童生徒の割合の増加にも、関係していると考えられます。また、中学校では【粘り強さ】に関する項目でも、「当てはまる」と回答した割合が昨年度を上回っていました。
- 「自分で計画を立てて勉強をしているか」という質問項目では、小学校5年生から中学校1年生にかけて大きく減少しています。児童生徒に学び方を身に付けさせ、自己調整しながら学習する習慣を、小中で連携して育成していくことが大切です。
- 「ICTの授業での活用」に関する質問項目では、学年、教科、市町村（学校）間において、1人1台端末等の活用頻度の差が見受けられます。好事例等を共有して共通実践するなど、組織全体で取組の良さを実感し、活用が進むような手立てが必要です。